

## クラウド上に画像AIモデル作成

日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区、西條洋社長、03・5780・6111）では、人工知能（AI）で画像データを識別する基準となるモデルをクラウドサーバー上で作成できるサービスを2019年2月1日に始める。ユーザーがクラウド上に画像をアップロードして利用する。AIの専門技術者がいない企業でも、工業製品の外観確認など目視での業務にAIを導入できる。

### 日立ソリュ・クリエイト、来年2月サービス

専用ツールをクラウド上に設けた。AIによる画像識別を行うには一定数の画像データが必要だが、ユーザー側で画像の数が足りない場合に活用できる。この画像データを基に独自開発のエンジンでAIモデルを作成する。クラウド上で作成したAIモデルをダウンロードしてオフライン環境でも使えるオプションも設ける。利用料は月額100万円（同）。

モデルを工業製品の傷や汚れの判別に使うことで、熟練検査員の暗黙知をシステム化することが可能。食品加工における仕上がりや異物混入の確認、計測機器の出荷前検査など、人の目で行う作業の工程に導入し、業務負担を軽減できる。ユーザーは申し込みから最短5日程度と短期間で画像認識の検証作業を始められる。

（横浜）

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。